

**FIH OLYMPIC  
QUALIFIER**  
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【女子】

開催日時 5 月 5 日 ( 土 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 5位・6位決定戦 ----- 10:00	オーストリア (世界ランク29位)	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$	5	マレーシア (世界ランク23位)
第2試合 3位・4位決定戦 ----- 12:30	チリ (世界ランク17位)	2	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	ベラルーシ (世界ランク22位)
第3試合 決勝戦 ----- 15:00	日本 (世界ランク9位)	5	$\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	アゼルバイジャン (世界ランク15位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合 5位・6位決定戦

オーストリア 0  $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$  5 マレーシア

<得点>

オーストリア :

マレーシア : 12分 #17OTHMAN, 31分 #3ARUMUGAM, 40分 #11SUMANTRI  
43分 #8MOHAMAD, 47分 #9HASHIM

<戦評>

オーストリアのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤からマレーシアペースで試合は進み、6分、#14ABDULが右エンドライン際をドリブルで突破しPCを獲得。#14ABDULが右ポストに合わせるも大きく外に外れ、得点を挙げる事が出来ない。さらにマレーシアの攻撃は続く。自陣からの早いパス回しで右サークルトップ付近にいた#11SUMANTRIがボールを受け、サークル内の#17OTHMANが合わせゴールインするも審判の判定はビハインド。マレーシアは抗議し、ビデオ判定となる。結果はゴールインで先制点を挙げ、同点に追いつきたいオーストリアは21分、22分、25分とたて続けにPCを獲得するも、マレーシアGK#1YAHYAに阻まれ、得点することが出来ない。マレーシアは粘り強い守りから31分、#11SUMANTRIが中央23mライン付近でボールを受けるとドリブルでサークルインし、オーストリアの反則を誘いPCを獲得。#13ABOULがパッサー#3ARUMUGAMに合わせ、追加点を挙げる。2-0でマレーシアのリードのまま前半戦を折り返す。

後半戦が開始されるとマレーシアは、自陣からの巧みなパスワークでオーストリア陣内に入る。#3ARUMUGAMが中央サークルトップにいた#11SUMANTRIにロングパスを通すと、オーストリアDFをかまし、冷静にプッシュシュートを決める。その後もマレーシアは40分、46分とPCを連続して決め、5-0とさらに点差を広げる。オーストリアも51分、62分とPCを獲得し反撃を見せるも、マレーシアGK#1YAHYAに阻まれる。オーストリアの反撃もむなしく5-0でマレーシアが勝利し、5位マレーシア、6位オーストリアとなった。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	JUDEFIND Stephanie
ジャッジ	KING Elizabeth		BRUNEKREEF Caroline
	FENNER Juriah	ビデオアンパイア	SANDERS Hannah

第2試合 3位・4位決定戦

チリ 2  $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$  1 ベラルーシ

<得点>

チリ : 4分 #15CARAM, 9分 #13CARAM

ベラルーシ : 53分 #11MIKHEICHYK

<戦評>

ベラルーシのセンターパスにより試合が開始された。開始4分、チリがPCを獲得。#15 CARAMのスweepシュートはGKに当たるがゴールが決まり先制点を挙げる。さらにチリは、9分にもPCを獲得。#14URROZのスweepシュートは相手の一番騎に当たるが、そのままボールはゴールに入り追加点を挙げリードする。対するベラルーシは13分、#10PIOTUKHがドリブルでサークルに攻め込み、#16KULINKOVICHがパスを受け、プッシュシュートを打つが枠を捉えることが出来ない。更にベラルーシは19分、20とPCを獲得し、#11MIKHEICHYKがフリックシュートを放つが得点には至らない。24分、25分にもベラルーシは立て続けにPCを獲得するが、チリの堅い守りに得点を挙げる事が出来ない。その後一進一退の攻防が続き、両チーム攻め込むが、チャンスつくりが出来ずチリリードで前半を折り返す。

後半戦が開始され、40分ベラルーシはPCを獲得。#7HALINOUSがヒットシュートを打つがDFに止められ得点できない。ベラルーシは49分にもPCを獲得するが、#11MIKHEICHYKのフリックシュートは味方の足に当たりチャンスをもたすことが出来ない。しかし53分、ベラルーシは#14SILITSKAYAがGKを引き付け、フリーの#11MIKHEICHYKにパスを出し、それを押し込んで得点を挙げる。その後も攻め続けるベラルーシであったが、チリの粘り強い守備により追加点を挙げる事が出来ない。チリは65分にPCを獲得するがGK#20NAVITSKAYAの好セーブによりチャンスをもたすことが出来ない。試合はそのまま終了し2-1でチリが勝利し、3位チリ、4位ベラルーシとなった。

テクニカルオフィサー	FENNER Juriah	アンパイア	PRESENQUI Irene
ジャッジ	KING Elizabeth		CHURCH Amber
	SHIN Jung Hee	ビデオアンパイア	SEYMOUR Kylie

### 第3試合 決勝戦

日本 5  $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$  1 アゼルバイジャン

#### <得点>

日本 : 8分 48分 #10駒澤、21分 25分 #12柴田、28分 #11藤尾

アゼルバイジャン : 41分 #9ALIYEVA

#### <戦評>

日本のセンターパスにより試合が開始された。8分日本はPGを獲得。#6村上がブッシュで右に流し#10駒澤が飛びついてタッチシュートを決め先制点を挙げる。一方アゼルバイジャンは早いリスタートから攻め上がり、得点を狙うがなかなかシュートを打つことが出来ない。21分日本は#8山本からの強い縦パスに#12柴田が飛び込み、タッチシュートを決め追加点を挙げる。25分日本は#5中川からのパスを#12柴田が受け、倒れながらスイープシュートを打ち3点目を挙げる。更に日本は28分、#11藤尾が単独ドリブルでサークルに切り込み、リバースヒットを決め点差を広げる。前半は日本が4点リードで折り返す。

後半戦に入り、チャンスを最初につくったのはアゼルバイジャン。40分41分とPGを獲得。#9ALIYEVAがフリックシュートを決め一点を返す。一方日本は48分にPGを獲得。#14眞鍋が#10駒澤にあわせシュートし、追加点を挙げる。その後両チーム中盤での激しい攻防が繰り返される。アゼルバイジャンは70分、最終ラインからワンパスでFWに繋ぎ速攻からサークルに入りリバースヒットを打つも枠を捉えることが出来ない。試合はそのまま終了し、5-1で日本が勝利し、1位日本、2位アゼルバイジャンとなった。この大会で日本はロンドンオリンピック出場権を手にした。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	ROACH Lisa
ジャッジ	KING Elizabeth		HUDSON Kelly
	FENNER Juriah	ビデオアンパイア	CLELLAND Irene

#### 【最終順位】

1位	日本	4位	ベラルーシ
2位	アゼルバイジャン	5位	マレーシア
3位	チリ	6位	オーストリア

#### 【個人賞】

フェアプレー賞	日本	ベストGK	#20 SHAHBAZOVA Viktoriya (アゼルバイジャン)
得点王	#11 藤尾 香織(日本)	MVP	#4 岩尾 幸美(日本)

### 明日の組み合わせ【男子】

第1試合 5位・6位決定戦 10:00	チェコ (世界ランク23位)	VS	ブラジル (世界ランク42位)
第2試合 3位・4位決定戦 12:30	中国 (世界ランク17位)	VS	オーストリア (世界ランク21位)
第3試合 決勝戦 15:00	日本 (世界ランク15位)	VS	南アフリカ (世界ランク12位)